

# 国債の決済期間の短縮化に関する検討ワーキング・グループ（第32回）

平成26年3月14日（金）午後4時  
日本証券業協会 第1会議室

## 議 題

1. コンサルティング報告書（案）について
2. 銘柄後決めレポ取引に係る業務要綱（案）について
3. 今後の検討の進め方について

以 上

## 今後の検討の進め方について（たたき台）

## 1. グランドデザイン（確定版）までの検討課題とWGとしての決定事項のイメージ

	アウトライト・SCレポ	GCレポ
コンサル提言 ～ 3月まで	「アウトライトT+1化(GCレポT+0化)に関し、課題の把握とその解決策及びヒアリング・アンケートを通じた費用対効果の整理・分析等の取りまとめ(提言の策定)を委託」(工程表【平成 25 年 6 月】)	
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・以下の提言が示される予定</li> <li>➢ 市場共通タイムスケジュール</li> <li>➢ 市場インフラの利用促進を通じたポスト・トレード業務の段階的な STP 化</li> <li>➢ 市場慣行の設定・見直し（標準フォーマットの利用を通じた STP 化の促進）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今後の検討課題・論点と検討の方向性が示される予定</li> <li>➢ 取引形態の標準化、非 CCP 取引、ターム物取引（サブスティテューション、非 CCP 取引のマージンコントロールなどの付随機能）</li> <li>➢ 市場参加者における対応（システム対応・事務フローの変更を含む影響の整理）</li> </ul>
グランドデザイン(暫定版) ～ 6月まで	<ul style="list-style-type: none"> <li>・コンサル提言をWGとして検証したうえで、市場共通タイムスケジュールや STP 化の促進といった方向性に合意</li> <li>・市場慣行整備のための検討体を提示</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・担保管理インフラの基本機能の内容に合意し、対象取引の範囲・付随機能については論点を整理</li> <li>➢ 基本機能について、市場インフラへ要望として提示</li> <li>➢ 対象取引の範囲・付随機能については論点整理の段階との位置づけで、市場インフラへ提示</li> </ul>
グランドデザイン(確定版) ～ 9月まで	「平成 26 年度上期に国債取引のアウトライト T+1 化の実現に向けた課題の整理及び解決策の取りまとめを行う」(工程表【平成 25 年 12 月】)	
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・より幅広い市場参加者の意見も踏まえたうえで、今後の作業予定を提示</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・担保管理インフラの担い手の決定</li> <li>・担保管理インフラの対象取引の範囲・付随機能への対応方針の決定</li> <li>・市場慣行整備のための検討体を提示</li> </ul>

## 2. WGとしての検討課題（GCLポ関係）

(1) グランドデザイン（暫定版）までにWGで合意すべき事項

- ① 割当証券の数量の決定方法
- ② 取引単位・振替単位
- ③ バスケット（コード、ヘアカット方法）
- ④ 後決め方式におけるフェイル抑止策
- ⑤ 銘柄割当ルール（含む、仲介業者利用取引の取扱い）

(2) グランドデザイン（暫定版）までにWGとして論点整理すべき事項。

① 非 CCP 利用取引の取扱い

→ 対応要否が②の論点にも影響するため、優先的に検討すべき論点。

② ターム物取引に必要な機能（サブステイテューション、非 CCP 取引のマージンコール等）

→ 市場参加者・WGメンバーが合意形成するために必要な論点を整理し、より幅広い市場参加者からも意見を募集したうえで、確定版までの意見集約を目指す。

③ 取引形態の標準化（新現先/現担への一本化）

→ 本WGと別の検討体での検討要否も含めて議論する必要（その場合、本WGでの検討範囲と別の検討体での検討の射程を明確化する必要があるか）。

以 上

## 検討会等の開催概要

### <担保管理インフラ検討会>

#### ○第 15 回（平成 26 年 2 月 21 日（金））

日本証券クリアリング機構より、以下の点について説明があり、検討を行った。

- 担保管理インフラにおける割当限度管理並びに銘柄割当不能及びフェイルの場合の取扱いについて
- 割当可能残高通知（ポジティブリスト）の提出及び更新方法について
- 銘柄後決めレポ取引に係るデータの種類及びインターフェイスについて

#### ○第 16 回（平成 26 年 3 月 6 日（木））

日本証券クリアリング機構より、以下の点について説明があり、検討を行った。

- 前回検討会後に寄せられた御意見について
- 割当可能残高通知（ポジティブリスト）の提出及び更新方法について
- 銘柄後決めレポ取引に係る業務要綱案について

### <後決め方式 G C レポ取引手法検討会>

#### ○第 12 回（平成 26 年 3 月 7 日（金））

以下の点について検討を行った。

- 第 11 回会合以後に寄せられた意見について
- 非 CCP 利用取引への後決め方式・担保管理サービス導入要否
- 銘柄後決めレポ取引に係る業務要綱案について

### <信託財産に係るレポ取引手法タスクフォース>

#### ○第 4 回（平成 26 年 2 月 28 日（金））

資産管理系信託銀行を中心に、以下の点について検討を行った。

- 割当数量に係るリーガル検討の経緯と今後の確認事項について
- 割当数量の決定方法に関する課題について
- 信託銀行における課題の整理について

以 上